

マンション管理組合向け防災力簡易診断チェックシート

NPO法人建築技術支援協会 2021.3.15版

防災の分類	チェック項目	☑	点数
Ⅰハード 建物の耐震性能 (抑止力)	(1)以下のどれかに該当する場合は☑ ・1981年以降の「新耐震」建物である。またはそれ以前の「旧耐震」 建物の場合は、耐震診断・補強を実施している。 ・超高層マンションまたは免震マンションである。 ・住宅性能表示制度の耐震等級を取得している。	☐	3
	(2)定期的で大規模修繕工事を実施している。	☐	1
	(3)地震危険度・液状化危険度が低いことをハザードマップ等で確認している。 東京都の場合、「あなたの街の地震危険度（東京都都市整備局2018）」が「2」以下である。	☐	1
	(4)エレベータは地震時管制運転装置（2009年法改正に対応した新安全装置）を装着済みである。	☐	1
	(5)過去の地震でおおきなひび割れや玄関ドアの開閉不具合が発生していない、もしくは不具合を改修済みである。	☐	1
	(6)住戸内の家具等の転倒防止策が周知徹底されている。	☐	1
Ⅱソフト 日頃の備え (災害への対応 力・防災マニ ュアル)	(1)「災害発生直後」の対応と「2～3日、4日以降の復興期」を対象とした被災イメージについて、管理組合や各家庭で普段から話し合われている。	☐	2
	(2)管理組合の規約化された「防災マニュアル」が整備されている。	☐	2
	(3)毎年防災訓練が実施されており、災害時に居住者がすべきことの認識が共有されている。	☐	2
	(4)安否確認のため、定期的に更新する居住者名簿があり、且つ緊急時の要介護者を認識している。	☐	1
	(5)普段から良いコミュニティーの形成が図られている。	☐	1
	(6)防災倉庫が設置されており、居住者が備蓄していない場合に備え、	☐	1
	(7)災害時に必要な共有の資機材が準備されている。	☐	1
	(8)非常用電源、生活用水が確保できる。（停電・断水対策を講じている。）	☐	1
	(9)マンション内に避難用の共有スペースが確保されている。	☐	1
☑の入った点数の合計			

【シートの見方】

(1)Ⅰ・Ⅱ欄において、20点（全項目☑入り）であれば、ひとまず安心です。

なお、大地震時に地盤や建物の特性によって、建物が想定外の大きなダメージを受けることがあります。また、ライフラインの復旧が大幅に遅れたり、救援物資が届かないなど、大きな社会混乱を招くことも憂慮されますので、万一来て備えて、十分な事前準備を心がけてください。

(2)10点以上20点未満の場合は、改善について専門家と相談してください。

(3)10点未満の場合は、専門家による詳しい診断を受けてください。